

(別紙1)《会派用》

令和5年8月30日

狭山市議会議長
三浦 和也 様

会 派 名 公明党
代表者氏名 加賀谷 勉



視 察 報 告 書

このことについて、別紙のとおり、報告がありましたのでご報告いたします。



代表者 加賀谷 勉 様

研修者(代表)氏名 広山 清志



研 修 会 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 期 間 5年 8月 9日～ 5年 8月 9日 (泊 日)
- 2 研修会名
地方議会セミナー 一般質問で行政を動かす！
- 3 研修会主催者
(株)廣瀬行政研究所
- 4 開催場所
京都産業センター
- 5 研修会参加人数 4 人
参加者は次のとおり
加賀谷 勉 広山 清志 船川 秀子 関根 弘樹
- 6 研修会スケジュール
10:00～13:00 市長経験者が明かす！質問の極意
14:00～17:00 理想の一般質問をつくるグループワーク
- 7 研修会概要
概要については別添資料参照
午後の部では研修前に提出した、一般質問の質問・答弁原稿について1件ずつ
分析し、より良い質問となるよう具体的な提言を受けた

令和5年8月30日

研修報告

狭山市公明党市議会議員
記) 広山 清志

1. 研修概要

研修名 一般質問で行政を動かす

- ・市長経験者が明かす！質問の極意
- ・理想の一般質問をつくるグループワーク

講師 平井隆一まちづくりコーディネーター代表 前逗子市市長

主催 (株)廣瀬行政研究所

日程 8月9日(水) 10:00～17:00

場所 京都経済センター

参加者 加賀谷 勉 船川 秀子 関根 弘樹 広山 清志 計4名

2. 研修内容

別紙参照

3. 考察

前半は元市長から見た「良い質問とは？」という視点で講義が進められた。また「良い質問」だけでなく、「悪い質問」も紹介されたが、気になったのは、・財源の根拠もなく、要望する。といった点だった。財源の根拠を示さない＝悪い質問、とはいき切れない部分があるのでは？と思う。もちろん理想は「財源の根拠のある要望」ではあるが、きちんと分析された課題を明確にし、市民の多くが要望し、かつ対応しないと大きな損失になりかねないなどの要望については、予算根拠がなくても質問で取り上げてもよいと考える。もちろん市長からの視点では予算の根拠を明確にして欲しいのは理解するが、極端に言うと、必要であれば、予算は執行部側で考えるべき事かと思う。

良い質問とは「市の将来ビジョンに沿いながらも、課題を指摘しつつ、解決となるような政策提案をしてほしい。」との事であり、この講義で改めて行政側からの「良い質問」の視点を認識した。

また「私をうならせた」質問が2件紹介されており、1件は市の増収につながり、もう1件はお金をかけなくても、選挙開票効率のUPが図られ、開票報告時間大幅に短縮された事例が紹介された。どちらも予算的には市にとって、大きな出費はない内容であった。(それどころか収入UPも)この内容で気になるのは、本来は市の職員

が自分たちの仕事の中で改善すべき内容であり、市民の代表である市議会議員から発信されるといった点に違和感を感じた。確かに市にとってプラスとなったが、市議会議員に求めるものの例として、今回挙げた事例には疑問が残る。

後半は我々の過去の一般質問原稿の分析や、改善点の提案などがあつた。一般質問の極意も紹介され、これについては「なるほど」と納得する点が多くあつた。タイパ(タイムパフォーマンス)時代の議会、最も言いたいこと＝結論を最初に訴え、答弁を引き出す。などは日頃から私も、何とかそういう形にならないか苦慮しているができていないのが現実である。

講義の最後は時間が押してしまった。原因は途中、雑談にそれてしまったところが多々あつたせいだが、その雑談も経験による実話であるため、充実した内容であつた。総じて、今回の研修に参加できて得るものは多くあり、今後の一般質問に生かしていきたいノウハウを多く学んだ。

以上